

# 事業評価シート（平成24年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	駅(西口)周辺魅力アップ事業		
事業担当	都市整備部 都市整備課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	②〈まちの顔〉 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'02	2 人々が憩えるゆとりとうるおいのある都市空間を創造する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民・来街者	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
	西口跨線橋のバリアフリー化及び駅前民間複合ビルの建設促進により、まちのにぎわいを創出し、魅力アップが図られています。		駅西口周辺の魅力アップのため、中地に商業施設を誘致します。

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	西口跨線橋エレベータ設置進捗率			単位	%
	説明・算定式	平成24年度を100%としたエレベーター設置進捗率。H22まで:76%、H23:設置に向けた協議4%、H24:エレベーター設置20%(平成24年度まで)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	76	80	100		
	実績	70	76	88		
成果指標②	指標名	駅西口中地の土地利用実施方針策定進捗率			単位	%
	説明・算定式	平成27年度を100%とした土地利用実施方針策定進捗率。H25:基本方針検討30%、H26:基本方針策定30%、H27:実施方針策定40%(平成25年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標				30	
	実績					
進捗状況	②: 若干遅れている					
	遅れている理由	改札外南エレベーター工事が、敷地内の支障物の影響により、工期を延長することとなったため。				
平成24年度の主な取組と成果						
平塚駅西口改札内上下ホーム及び改札外北エレベーターを設置しました。						
平成24年度の検証結果	B: おおむね成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	西口中地は、大半が市有地であり、西口周辺の魅力を高めることが必要と考えます。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	西口中地に民間複合ビルを誘導することは、西口周辺の魅力を高めるとともに、中心市街地活性化にもつながることとなり、有効性は高いと考えます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	西口中地に民間複合ビルを誘導することは、西口周辺の魅力を高めるとともに、中心市街地活性化にもつながることとなり、妥当性は高いと考えます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	民間複合ビルの整備は、民間活力を活用することを想定しているため、効率性の確保を図っていきます。	○ 高 ● 中 ○ 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 駅西口周辺の賑わい創出と魅力アップを図るため、西口中地土地利用基本方針を策定する必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		設計委託、改札内設計補助	改札内エレベータ設置補助、南北エレベータ設計	南北エレベーター工事、中地基本方針検討	中地土地利用基本方針検討
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	16,666	0
	起債	0	0	15,000	0
	その他 特財	11,451	14,093	78,062	0
	一般財源	0	0	6,000	0
事業費 (A)		11,451	14,093	115,728	0
執行率 (%)		13.96	5.59	26.24	
内訳	職員 (人)	0.95	1.00	1.00	1.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		7,847	8,104	8,015	7,948
フルコスト (A+B)		19,298	22,197	123,743	7,948

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成26年度の取組方針</b> 西口中地土地利用基本方針の策定を行います。
<b>課長コメント</b> 西口地区は、本市の課題である跨線橋のバリアフリー化を進め、また、中地に民間複合ビルを誘導して賑わいの創出と魅力アップを図っていきます。進捗状況としては若干遅れていますが、引き続き効率的な推進を図るようにします。